

4. システム開発

4. 1 企業と法務（企業活動）

問題 1

経営理念に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 1～2年ごとに見直し、修正するものである。
- イ. 企業の使命や存在意義を表したものである。
- ウ. 経営計画や経営方針を具体化したものである。
- エ. 社是、社訓などに明文化されていないものである。

問題 2

利益の追求だけでなく、社会に対する貢献や地球環境の保護などの社会課題を認識して取り組むという企業活動の基本となる考え方はどれか。

- ア. BCP イ. CSR ウ. M&A エ. MBO

問題 3

企業の経営状況を外部に公開することを何というか。

- ア. 株式会社 イ. 企業格上げ
- ウ. コンプライアンス エ. ディスクロージャ

問題 4

大規模な災害などによって、企業活動を支える重要な情報システムに障害が発生したような場合でも、企業活動の継続を可能にするために、あらかじめ策定する計画はどれか。

- ア. BCP イ. BPR ウ. ERP エ. RFP

問題 5

グリーン IT の考え方に基づく取組みの事例として、適切なものはどれか。

- ア. LED の青色光による目の疲労を軽減するよう配慮したディスプレイを使用する。
- イ. サーバ室の出入口にエアシャワー装置を設定する。
- ウ. 災害時に備えたバックアップシステムを構築する。
- エ. 資料の紙への印刷は制限して、PC のディスプレイによる閲覧に留めることを原則とする。

問題 6

株主総会の決議を必要とする事項だけを、全て挙げたものはどれか。

- a. 監査役を選任する。 b. 企業合併を決定する。
- c. 事業戦略を執行する。 d. 取締役を選任する。
- ア. a, b, d イ. a, c ウ. b エ. c, d

問題 7

OJT に該当する事例として、適切なものはどれか。

- ア. 新任管理職のマネジメント能力向上のために、勉強会を行った。
- イ. 転入者の庶務手続の理解を深めるために、具体的事例を用いて説明した。
- ウ. 販売情報システムに関する営業担当者を深めるために、説明会を実施していた。
- エ. 部下の企画立案能力向上のために、チームの販売計画の立案を命じた。

4. 1 企業と法務（経営組織）

問題 1

スタッフの業務を直近管理するスタッフリーダー（一般企業における係長や主任など）に該当する階層はどれか。

- ア. 一般従業員 イ. 監督者層
- ウ. 管理者層 エ. 経営者層

問題 2

経営戦略の策定など、企業経営を主導する最高経営責任者の略称はどれか。

- ア. CCO イ. CEO ウ. CFO エ. COO

問題 3

2人又はそれ以上の上司から指揮命令を受け、プロジェクトの目的別管理と職能部門の責任との調和を図る組織構造はどれか。

- ア. 階層型組織 イ. カンパニ制組織
ウ. 職能別組織 エ. マトリックス組織

問題 4

職能別組織を説明したものはどれか。

- ア. ある問題を解決するために必要な機能だけを集めて一定の期間に戻って結成し、問題解決とともに解散する組織
イ. 業務を専門的な機能に分け、各機能を単位として構成する組織
ウ. 製品、地域などを単位として、事業の利益責任をもつように構成する組織
エ. 製品や機能などの単位を組み合わせることによって、縦と横の構造をもつように構成する組織

問題 5

CIO の役割として、最も適切なものはどれか。

- ア. 客観的な立場から、自社の業務に問題がないか、IT の統制が有効に機能しているかなどを監査する。
イ. 経営戦略を実現するための情報戦略の立案及び実施を主導する。
ウ. 経営戦略を実現するための人事制度を構築し、勤務の実態を把握するなど管理・運営全般を掌握する。
エ. 自社の資金効率の向上、及び財務会計の正確性を維持する。

問題 6

事業部制組織を説明したものはどれか。

- ア. 構成員が、自己の専門とする職能部門と特定の事業を遂行する部門の両方に所属する組織である。
イ. 購買・生産・販売・財務などの仕事の性質によって、部門を編成した組織である。
ウ. 特定の課題のもとに各部門から専門家を集めて編成し、期間と目標を定めて活動する一時的かつ柔軟な組織である。
エ. 利益責任と業務遂行に必要な職能を、製品別、顧客別又は地域別にもつことによって、自己完結的な経営活動が展開できる組織である。

問題 7

組織構造の基本原則に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 組織のメンバは、複数の上司から命令を受けることがあり得るので、これに耐え得る組織づくりが重要である。
イ. 組織を幾つかの階層に分けて、階層ごとに責任や権限を明らかにすることによって、命令が上から下まで一貫して流れるようになる。
ウ. 組織を構成するメンバの一人ひとりが専門化された業務活動を担当できるような組織形態は好ましくない。周りとの調和が重要である。
エ. 統制範囲を決めることは重要であるが、1 人の上司が監督する部下の適正人材はない。したがって、できるだけ多くの部下を監督する。

4. 1 企業と法務（業務分析（1））

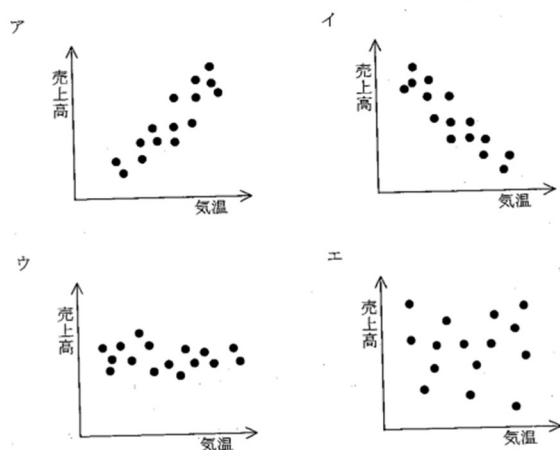
問題 1

ABC 分析に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 二つの項目間に関係があるかどうかを、収集したデータを用いて解析する手法
- イ. 母集団からサンプルを抜き取って検査を行い、サンプル中の不良個数によって母集団の品質を判定する手法
- ウ. 優先的に管理すべき作業を明確にするために、作業の前後関係や作業日数から全体の所要日数を求め、重点管理経路を把握する手法
- エ. 優先的に管理すべき対象を明確にするために、売上金額などの累積構成比をもとに重要度のランク付けを行う手法

問題 2

気温と売上高の関係が負の相関となっているものはどれか。



問題 3

製造業の A 社は、製品の組立部品を購買している。A 社では、自社の仕入金額全体に占める割合が大きい部品を、重点的に在庫管理する対象として選びたい。このとき利用する図式として、適切なものはどれか。

- ア. PERT 図
- イ. 管理図
- ウ. 散布図
- エ. パレート図

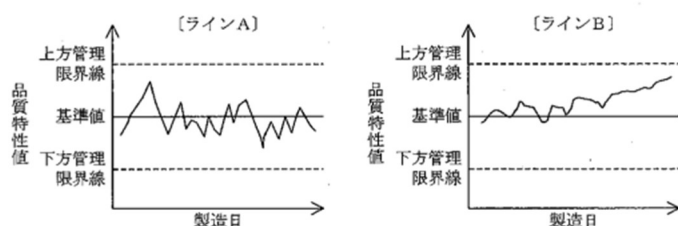
問題 4

アローダイアグラムが最も有効に活用される事例はどれか。

- ア. 新製品の発表会に際し、会場の準備や関係者への連絡などの計画を立てる。
- イ. 建物の設計・施工に際し、作業の実施手順と実施日を確認する。
- ウ. テーマの選定に際し、解決すべき重要な問題点を絞り込む。
- エ. 取引価格の改定交渉に際し、幾つかの代替案も準備する。

問題 5

二つの管理図は、工場内の製造ライン A、B で生産された製品の、製造日ごとの品質特性値をしている。製造ライン A、B への対応のうち、適切なものはどれか。



- ア. ライン A、B とも値が管理限界内に収まっているので、しばらく様子を見る。
- イ. ライン A、B とも値が基準値から外れているので、原因の究明を行う。
- ウ. ライン A は、ライン B より値のばらつきが大きいので、原因の究明を行う。
- エ. ライン B は、値が継続して増加傾向にあるので、原因の究明を行う。